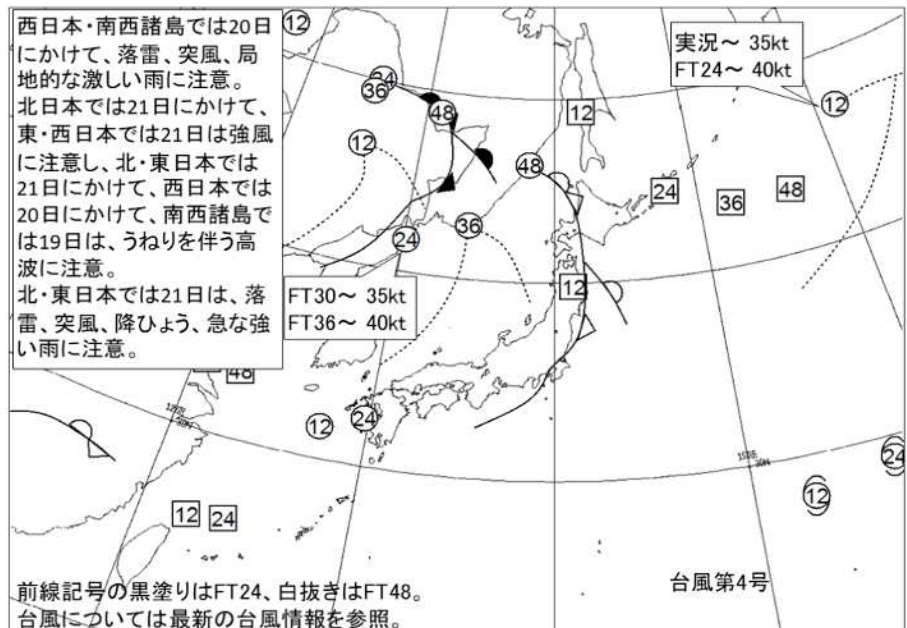


1. 実況上の着目点

- ① 停滞している500hPa 5700m以下の切離低気圧に対応する東シナ海の低気圧に伴う気圧の谷が九州西方～奄美地方～沖縄の南にあり、徐々に東～南に移動。衛星水蒸気画像の明域や暗域境界で対流が活発で、高度1km以下で相当温位340K以上の暖湿が入っている沖縄地方の海域では非常に激しい雨を解析。
- ② 千島近海の低気圧は発達傾向があり、北海道地方では引き続き風の強い所がある。
- ③ 台風第4号が徐々に衰弱しながら南鳥島近海を北東進。台風を波源とした周期の長いうねりが引き続き北～西日本太平洋側と南西諸島で観測されており、波の高い所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の東シナ海の低気圧は、20日にかけて九州を西から東へ横断し不明瞭化する。切離低気圧は上空で西風が卓越するのに伴いトラフに変化して東進し、20日夕方～夜には伊豆諸島～小笠原諸島を通過する。上層トラフが地上低気圧や気圧の谷を追い越すのに伴い、大気の状態が不安定となり、気圧の谷付近で対流雲が発達し、雷を伴って激しい雨の降る所がある。西日本～南西諸島では20日にかけて、落雷、突風、局地的な激しい雨に注意。
- ② 500hPa 5520m付近で-18℃以下の寒気を伴うトラフの前面で発生し、発達する低気圧が20日から21日にかけて日本海の中中部から北部に進み、前線が21日午前中に北～東日本を通過する。低気圧や前線の東側を中心に気圧の傾きが大きく、強い風や非常に強い風が吹き、波が高くなる所やしける所がある。また、北～西日本太平洋側では、台風第4号を波源とするうねりの影響が残り波が高くなる所がある。北日本では21日にかけて、東・西日本では21日は強風に注意し、北・東日本では21日にかけて、西日本では20日にかけて、南西諸島では19日は、うねりを伴う高波に注意。
- ③ 2項②の低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空の寒気の影響で、所々で大気の状態が不安定となる。北・東日本では21日は、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、21日にかけて下層に暖気が流れ込み雪解けが進む。北・東日本の多雪地では21日にかけて、なだれや融雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：伊豆諸島4、北海道・東北・関東・東海・近畿・四国・九州南部・奄美・沖縄3m。
- ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。